

アニマルマップ（動物位置情報システム）基地局の設置について

近年、市内においてニホンザル（以下、サル）による農作物被害等が拡大しています。これまでも被害防止対策として電気柵設置や行動域把握に取り組んできましたが、今回新たにサルの位置情報を確認できるアニマルマップの運用を開始します。

1 目的

サルの行動域把握及び被害防止を図るため

2 設置場所

日頃市町内（八幡神社境内、小通公民館敷地内）

3 アニマルマップの概要

大船渡市では、令和2年度から市内で確認されているサルの個体群のうち、基本的に群れを離れることがないメスのサルにGPS首輪発信機（以下、発信機）を装着し、行動域調査を行っています。さらに、今年9月には、発信機からの位置情報を受信可能な基地局を設置し、試験運用を行ってきました。

アニマルマップは発信機からの位置情報を基地局で受信することによって、Webブラウザ上でサルの位置情報を確認することが可能になります。

4 アニマルマップの活用

基本的に毎日サルの位置情報が取得（1日最大6回程度）され、Webブラウザ上で確認できます。そのため、配布されるIDとパスワードを使用すれば、住民の方でもサルの位置情報を知ることができ、効率的な追い払い等に活用できます。ただし、インターネットに接続された通信端末（パソコン、スマートフォン等）が必要になります。

5 ID、パスワードの配布

サルの位置情報がリアルタイムに近い状態で確認できることから、動物虐待やその他の悪用を防止するため、IDとパスワードの配布対象者は日頃市町の住民である方、もしくは日頃市町の住民以外でサルによる農業被害がある方に限定します。

配布を希望される方には、日頃市地区公民館と大船渡市農林課（本庁3階）において、11月22日（月）より開館、開庁時間中にID、パスワード及び簡単な使用説明書を随時配布します。

また、配布の際には氏名や住所等を受付簿に記入いただきます。

アニマルマップ基地局（小通公民館敷地内）

